

新年と干支のお話

あけましておめでとうございます。新年^{そうそう}早々、地震^{じしん}や飛行機^{ひこうき}事故^{じこ}などの暗いニュースがありましたが、どんなにそなえていても災害^{さいがい}や事故^{じこ}は起こります。しかし、災害^{さいがい}や事故^{じこ}の被害^{ひがい}を小さくするためには研究^{けんきゅう}と対策^{たいさく}が欠かせません。未来の災害にそなえ、自分の身^みを守る^{まも}ためにも、今は勉強^{べんきょう}をがんばってくださいね。

さて、2024年は2月が29日までである「うるう年」で、オリンピックもあります。うるう年の決めかたはちょっと複雑^{ふくざつ}なのですが、とりあえず西暦^{せいれき}（2024）が4で割り切れる年^わはうるう年、とっておけばOKです。

中国から伝わった干支^{えと}（正式には十干十二支^{じっかんじゅうにし}のうち、日本で一般的な十二支^{いっぱんてき}）では、2024年は辰年^{たつ}にあたります。十二支は「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の12種類^{しゅるい}が一年ごとに順番^{じゅんばん}に回^{まわ}ってくることで、うるう年にあたるのは「子・辰・申」の3種類^{しゅるい}だけ、ということになります。十二支にふくまれる動物の種類^{しゅるい}は国によってちがいがあそうですが、神様のレースで順番を決めた、という伝説があります。



2023 年の七夕のときにもつぶやきましたが、理科であつかう自然現象や年中行事について、理科とは直接つながりのない神話や伝説がかかわっていることがあります。授業ではなかなかそこまでふみこむことができませんが、調べてみるとあん Do でも「へー！」と思うようなことがわかったりします。「面白い」と思うと同時に「勉強って一生続くものなんだな」とも感じます。みなさんも、気になったことがあったらどんどん調べてみてくださいね。ティープロでの質問も大歓迎です。

今年もがんばっていきましょう！

24/1/6 （元日は止まった新幹線の中にいた）あん Do



春の七草（七草がゆは食べたかな？）